

研究課題

映画作りを通じた児童及び教師のICT活用能力の向上を目指して

副題 ～国語や社会などの他教科との関連を図りながら取り組む総合的な学習～

学校名	川崎市立川中島小学校
所在地	〒210-0813 神奈川県川崎市川崎区川中島2-4-19
学級数	18
児童・生徒数	482名
職員数/会員数	32名
学校長	榊原 誠
研究代表者	榊原 誠
ホームページアドレス	http://www.keins.city.kawasaki.jp/2/ke200501/



1. はじめに

本校の映画制作の取り組みが総合的な学習の年間カリキュラムに位置づけられたのは、平成20年度からであり、「子どもが主役～地域とつながり生きる子どもたち～」と題して校内研究の中で学校独自のプランを築き上げて3年目となる。初年度は「環境」をテーマに、映画を活用して「伝えたい思いを伝える」ことを活動の柱としてきた。

そして昨年度は、子ども達の自由な思いと発想を大切に「個々の伝えたい思い」を柱とし、書く活動・表現力の育成に重点を置き、一人一人がテーマ設定からストーリーの構成を行い、情報だけを伝えることとドラマにして言葉や表現で思いを伝えることの違いを学びながら、子ども達の思考の具体化を目指してきた。その中で、好きな言葉を書き入れること、文章をつなげて書くことの楽しさ、自分達でストーリーを作ることの喜び、それが映像として形に残る充実感を味わってきた子ども達である。

そこで今年度は、①引き続きテーマ設定から子ども達が主体的に映画を作りあげる活動を通して、自己表現力を高めるとともに、新しいものをつくり出す創造力、企画力をのばすこと。②ビデオカメラからパソコンの編集を通してICT能力の向上を目指すこと。③他教科との連携を重視したカリキュラムを作成すること。この3点について研究を進めることとなった。

2. 研究の目的

新学習指導要領では、教科・領域等での言語活動の充実、

情報・ICT活用の義務づけなどがあげられ、今後の学校教育において、メディアリテラシー（本校ではこれまでにシネリテラシーとして取り組んできた）の必要性を感じる。今年度映画制作活動に取り組んだ子ども達から、伝えたいことを撮り方の工夫により印象づけることができ、編集の仕方で見せ方を変えて伝えたいことをより強調できることが映画の良さだという気づきがみられた。そこで次年度は、言葉で伝えるだけでなく映像でイメージさせる撮り方ができるよう、編集まで見通しを持った撮影ができるような思考力・表現力・構成力の育成を目指したいと考える。また、コミュニティスクールのよさを活かし、地域での撮影やその活動を支援くださる方々とのコミュニケーションと仲間との協力を育む活動の研究を進めていきたいと考える。

活動例を5年生の学習で考えた場合、国語科後期指導計画の単元「物語を作ろう」を前期に移行し、イメージを広げたストーリー構成方法、視点を考える言葉を焦点化するなどの学習を通し、映画の柱となるテーマを自ら設定し、脚本を書き上げる活動を進めていく。そして学習のまとめとして、考えたストーリーを紙芝居にし、撮影する際の絵コンテにつなげる。同様に、社会科後期指導計画の「情報」単元を前期に移行し、題材のひとつにこれまでの映画作品を用いて、ひとつの映画を作りあげるために必要な仕事や、どのように人が関わっているのかなど調べ、伝えるとはどういうことか考えることで探究的・追及的な活動を進めていく。そこから、自分達にできる仕事を考え役割を分担することで、可能性にチャレンジしたり、仕事に対する責任感をもったり、役割ごとの仲間との連携の大切さに気づいたり、より総合的な映画制作活動へと発展させていく。また、ネットワークの活用とし

て、作った作品の発信の仕方や、それを伝える側と受け取る側の情報モラルを知ることにも学びに取り込んでいく。

本活動は、総合的な学習の時間でのカリキュラムに位置づけているが、このように他教科との関連を重視し、見通しをもった活動を展開していくために、単元の移行をふまえた学校独自プランを作成することを続けて研究推進していく。子ども達の活動としては、「伝える作業」である編集を充実させることで、メディアリテラシーを育てていきたい。観ている人の想像力を呼び起こすために、必要なものを残す取捨選択・決断。映像のつなぎ方や特殊効果を活かして意外性を感じさせることができる豊かな表現。インパクトを与える構成。それらを見通した撮影ができるよう、どの場面で専門家に関わってもらいかなども、子ども達自身が必要に応じて考え、主体的に関わり、自分達の学びを自ら創り上げる活動にしていく。そのためには撮影機材はレンタルではなく、子ども達が使いたいと判断したときに使える環境を整えていきたい。加えて、専門家と出会い、本物の機材に触れることで、さらなる意欲の向上を目指すとともに、キャリア教育とも関連付け、その人なりの生き様や仕事に対する情熱を知り、夢や目標をもって活動に取り組めることに期待する。また、本校がコミュニティスクールであることを活かし、活動場所を地域にも広げ、多くの方の参画が期待できる活動を子ども達自身が考えていかれるようにする。そして、子ども達が見通しを持って活動できるよう、これらの活動内容や方法を年表に書き込むなど、年間の足跡を記録として残す作業にも取り組んでいく。

3. 研究の方法

総合的な学習の時間を中心にカリキュラムを作成し、以下の3点において児童の活動や記録から研究を深めていく。(詳しくは 4. 研究の内容、経過を参照)

- ①表現力・創造力・協調力の育成 ②ICT活用スキルの向上 ③カリキュラムの編成と見直し

4. 研究の内容、経過

(1) **単元名** The movie～思いを伝えよう～(映画制作活動)

(2) **活動のねらい**

映画制作を通して、自分の役割に対して責任をもちながら課題を解決する。学級でテーマを決めて一つのものを作り上げることによって、協力することやコミュニケーションの重要性に気付くことができる。

(3) **単元目標**

・映画制作にかかわる役割を知り、友達や先生と相談しながら自分に合った役割を決めることができる。・映画を通じて、一つのテーマを達成するために、友達と話し合いながら伝えたい相手や場面に応じて表現方法や物語を工夫することができる。・講師の先生と接することで、礼儀正しい態度や

言葉づかいを身につける。・友達とコミュニケーションをとりながら進めることで、協力することの大切さを知り、進んで人と関わろうとする。

(4) 評価規準



(課題を見つけ、追求する力)・自分の役割を決め、どうすればよりよい映画になるかを考え計画的に追究しようとする。(学習をまとめ、表現する力)・友達と協力しながら意見をまとめ、映画作りを計画的に進めることができる。・映画を通して、保護者や4年生と交流し、体験活動から知った学びを表現することができる。(自分自身を振り返る力)・人との関わりを通して、相手の気持ちを考えながら自分の行動を振り返り、次の活動に生かすことができる。(かかわる力)・映画を通して、コミュニケーションの重要さに気付き、講師や友達と関わることができる。

単元計画③

- *①表現力・創造力・協調力の育成 ②ICT活用スキルの向上 ③カリキュラムの編成と見直し

実施時期	○学習内容(教科・単元) □研究との関連
6月～7月	<p>単元名 川中島NEWSを作ろう <u>*映画制作とは別単元</u></p> <p>○ねらい ニュース番組作りを通して、自分たちの住む地域のよさや豊かさに気付き、グループで内容を構成、編集し他者へ発信することで、改めて自分の住む地域への愛着や認識を深める。</p> <p>Iつかむ オリエンテーション～今後の見通しをもつ～(総合) ニュース番組作りの現場から(国語) 情報を伝える人々(社会)</p> <p>II番組を構成する 自己課題～グループ課題～の設定(総合) 工夫して発信しよう(国語) 天気予報が気になるときは(社会)</p> <p>□番組構成づくりを通して個人の意見をグループ活動で深めていく①</p> <p>IIIインタビューする・撮影する お願いの手紙、お礼の手紙(国語) インタビュー名人になろう(国語) 身のまわりの情報を見つめて(社会)</p> <p>□ビデオカメラの扱い方②</p> <p>IV編集する NEWS川中島(総合) 工夫して発信しよう(国語) ニュース番組を作ろう(社会)</p> <p>□編集を通して表現の方法を工夫することができる①</p> <p>□Windows ムービーメーカーの使い方②</p> <p>V発信する・つなげる NEWS川中島～4年生との交流～(総合) 情報を生かすのはわたし(社会)</p> <p>□4年生との交流会で、相手の立場に立った情報の発信を考える①</p> <p>□Windows メディアプレイヤーの使い方②</p>



7月～ 9月	<p>○脚本の作り方（講師：FireWorks 栗山さん）</p> <p>映画のクラステーマを話し合う</p> <p>夏休みの宿題として脚本を作ろう</p> <p>みんなで脚本を読み合おう（国語）</p> <p>クラスの脚本を決めて、もっとテーマと関連させよう。</p> <p>（国語）</p> <p>□クラステーマと関連させながら、どうすれば自分たちの思いを映像で伝えることができるかを考え、表現につなげる。①</p>	
10月～ 12月	<p>○役割分担をしよう</p> <p>カット割りについて知ろう 実際に撮影を経験してみよう</p> <p>映画撮影の準備をしよう 撮影1～3</p> <p>編集を体験しよう 撮影4～6</p> <p>□自分の役割に責任を持ち、協力して撮影を進める①</p> <p>□カメラ・機材の扱い方②</p> <p>講師：土持監督、長田監督</p>	
1月～ 3月	<p>映画を編集しよう1～3</p> <p>交流準備</p> <p>映画上映会・チネチッタ（保護者）</p> <p>映画上映会・体育館（4年生）</p> <p>ふりかえり</p> <p>□上映会を通じて4年生と交流することにより、自分たちの表現力や創造力が向上したことを確認し、自己肯定感を高める①</p> <p>□映画メイキング映像から、自分たちが伝えたいことをまとめて来年度の学習につなげることができる①</p>	

5. 研究の成果と今後の課題

- ①表現力・創造力・協調力の育成 ②ICT活用スキルの向上
③カリキュラムの編成と見直し

	成果	課題
①	映像が表現であるということに気づき、編集ソフトでどんなことができるかを知ったことにより創造力を生かした表現ができたこと。	映画監督や脚本家といった講師謝礼金が発生すること。児童が自分たちで作品を作るといふ思いを大事にするため、話し合う時間をしっかり確保してあげたいが、現実的に時間の枠が決まっているので、そこをどう工夫していくか。
②	ビデオカメラの使い方からPCとつなげて取り込むこと。その後編集ソフトでの編集という一連の流れを知り、スキルを身に付けた児童が多かった。	機材の数が、まだまだ足りないもので全ての児童がスキルを身に付けたわけではない。撮影はよいがPCの処理速度に問題があり、作業が思うように進まない現状がある。
③	時間の調整とクロスカリキュラムの土台ができたこと。	新学習指導要領のもと、来年度より教科書が変わるので、それに合わせた形を再度作り直す必要があること。

6. おわりに

本活動においては、地域の取材、保護者の付き添いボランティア、川崎市「映像のまち・かわさき」担当者、かわさきMOVEARTOO隊、脚本家、映画監督、映画スタッフと多くの方々に支えられて活動してきました。それもパナソニック教育財団からの助成があったからこそです。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。